

2020.12.13(sun) 10:00~11:30

# オンラインおしゃべり会



参加者：染谷、河越、津波、原田、三好（以上team touch）  
坂上、関口（初参加）

## 皆さんが感じたこと

関口さん

地域にママサークルがあまりないので、サークルをつくりたい！でも本当に必要な？背中を押してもらいたくて参加しました。

染谷さん  
(team touch)

参加者の皆さんが「参加してよかった!」とってくれたことがとてもうれしいです！開催してみても改めてこういうのって必要な、と実感しています。子育てに正解はないですが「悩んでるのは自分だけじゃない」「みんな一緒なんだ」という安心感が心が救われますよね。

坂上さん

zoomで初めましての方とお話することには抵抗がないです。それより情報が欲しくて参加しました。アドバイスより何より、真っ先に欲しいのは、「あー、それ、わかる！わかる～!」という共感がうれしいです。ネットや書籍に育児情報はたくさんありますが、生の声を聞くというのは、大切なな～と思いました。

touchを作っている人や柏を良くしようとする人の気持ちを知って、勇気をもらえた気がします。

育児は思い通りにいかないで、子どもと自分のタイミングで行きたい時に行ける場所が、自宅から近いところにあるといいな。

車を使わないので、駅から近くにあるといいな。

「絵本選びどうしてる?」「図書館を上手に利用するといよいよ。」「絵本に関するこんな活動をしている人を知ってるよ。インスタをフォローしてみて。」等、絵本の選び方や図書館の利用の仕方など等の情報交換ができた。

こんな時期でも拠点が開いてくれていてありがたい。

他の人がどう子育てをしているのか、ネットなどでいろいろ調べたけど、zoomであっても、実際に聞いた方が有用な情報が得られると思った。

パパ同士でライトな子育ての話をする機会があると思う。

パパも行きやすいところがあればいいな。

「こういう機会があった方がいいね」「これからもよろしくお願いします!」と言い合って、お別れできたのがとてもうれしかったな。

# touch

— touchについて—

令和2年度はコロナ禍により、リアルに人と会ったり話したり遊んだりすることが難しい年となりました。そんな息苦しく不安な雰囲気の中、家にこもって孤独に子育てをしているかた、お子さんたちはどのように過ごしていたのでしょうか。

柏市子育て応援情報誌「touch」は、柏で安心して楽しく子育てができるよう、子育て中のかたや子育てを応援しているかたがつながり、力を合わせて作成しています。コロナ禍の中、私たちに何ができるだろう。悶々とする中、柏市子育て支援課の職員さんが「子育て中のかたが、ひとりで悩みを抱え込まずに拠点などに出かけておしゃべりをしたり、つながりを作って支え合ったりしながら子育てをすることは、“不要不急”なことではないですよ。いま、必要なことです。」とおっしゃいました。

地域子育て支援拠点スタッフの皆さんは、子育て中のかたの不安を少しでも和らげることができるようにと、インターネットなどを活用して試行錯誤しながら情報発信をされていました。そして、少しでも安心して利用できるよう、折々に最善の対策をとりながら拠点を開いてくださいました。

そっか。そうだね。子育てはひとりではできません。不安な今だからこそ一層、パートナーはもちろん、地域の人みんなで子どもを見守り、子どもを育てているかたが安心して過ごせるように応援することは、とてもとても大切なことなのですよ。

そうして今年度の「touch」は生まれました。直接取材に行かずに情報を集め、対策を取った上で少人数の座談会を実施し、アンケートやオンライン会議でつながりが作れるように工夫しながら作成しました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

この状況下でも安心してお子さんと遊び、情報交換をしたり、悩みを相談したりできる地域子育て支援拠点を、皆さんにご紹介できることをうれしく思っています。みんなで作った「touch」。ご活用ください。

team touch & かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここっと



あおママ



まるちゃん



こはくちゃん